

3 参考絵図 (3) (加世田) 再撰帳

(南さつま市加世田郷土資料館蔵)



①龍護山日新寺の周辺図〔『再撰帳一の一』掲載「龍護山日新寺」絵図（部分）〕

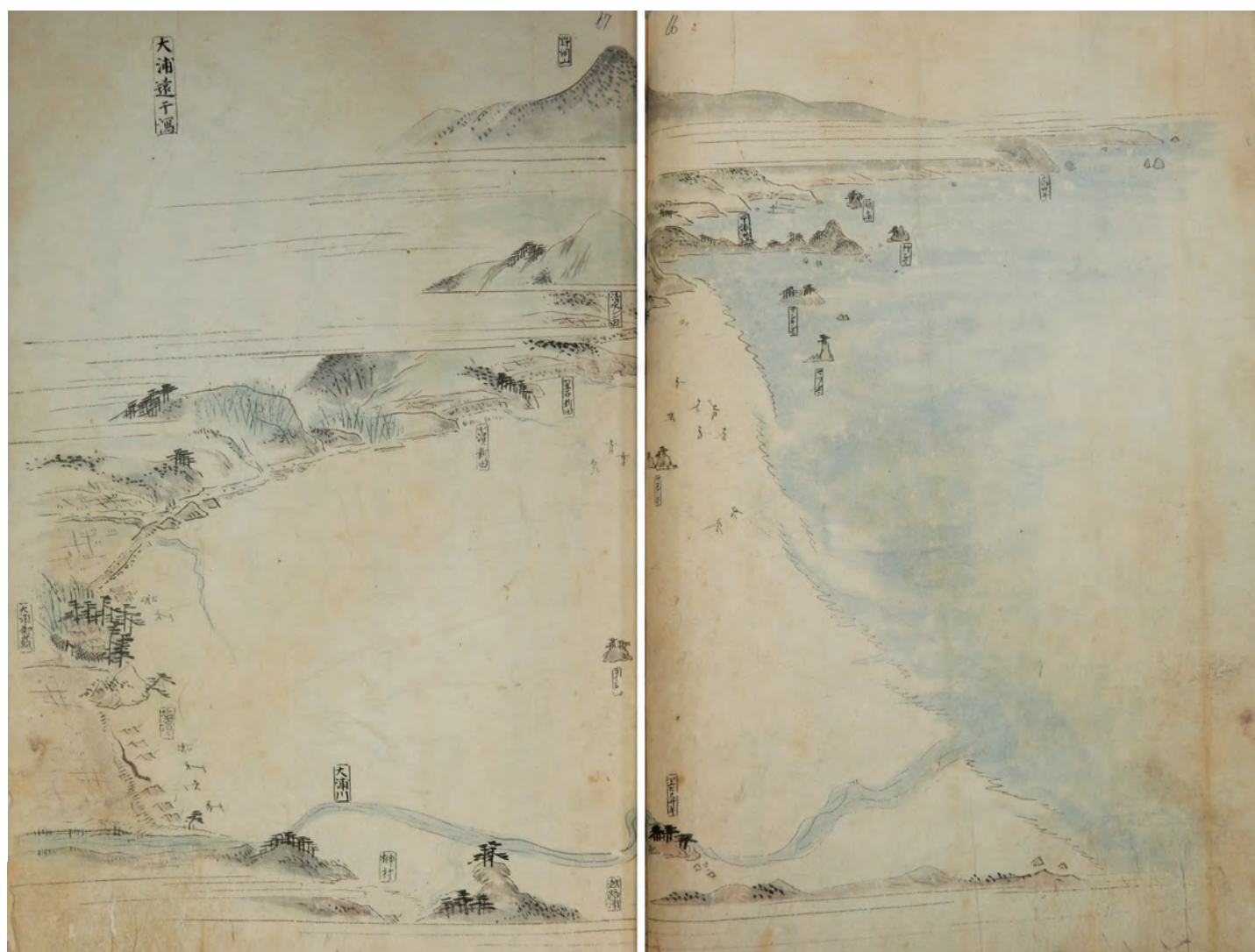


『(加世田) 再撰帳』3巻6冊 19世紀中葉

薩摩藩は、『薩藩名勝志』や『三国名勝図会』の編纂などにあたって諸郷に地誌情報の報告を求めた〔鹿児島大学附属図書館 2000〕。こうした動きの中で加世田郷でも地誌情報を記した各種の資料が作成された。その一つが『(加世田) 再撰帳』(南さつま市指定文化財)で、現状では6冊から成る。このうち、絵図を伴うのは『再撰帳一の一』と『再撰帳一之二』の2冊である。成立年代は19世紀中葉と考えられる〔橋口 2017〕。書中に、野間権現宮や日新寺といった神社・仏閣をはじめ、加世田郷内各所を描いた彩色の絵図が収載されていることで知られる。(詳細は本書の解題と考察Ⅲを参照のこと)



②大崎・小松原の周辺図〔『再撰帳一の一』掲載「小松原吹上」絵図〕



③大浦遠干潟の周辺図 [『再撰帳一の二』掲載「潮入遠干潟」絵図]





④片浦の周辺図〔『再撰帳一の二』掲載「片浦港」絵図〕